

2018年6月8～10日

新潟知事選、「防衛」、日米、米朝、モリカケ政局

新潟知事選、10日投開票＝各候補が最後の訴え



新潟県知事選の候補者の訴えを聞く有権者＝9日午後、新潟市東区

米山隆一前知事の辞職に伴う新潟県知事選は10日、投開票される。元同県五泉市議の安中聡氏（40）、前海上保安庁次長の花角英世氏（60）＝自民、公明支持＝、前県議の池田千賀子氏（57）＝立憲民主、国民民主、共産、自由、社民推薦＝の無所属新人3人が出馬。与党が推す花角氏と「野党統一候補」の池田氏が激しく競り合う、事実上の与野党対決となっている。

東京電力柏崎刈羽原発（同県柏崎市、刈羽村）の再稼働問題などが争点。知事選の結果は、森友・加計学園問題で野党の追及を受ける安倍晋三首相の政権運営にも影響を与えそうだ。

選挙戦最終日の9日、各陣営は大票田の新潟市で最後の訴えを行った。花角氏は繁華街で演説し「県政の混乱に終止符を打ち、新しい県づくりを始めよう」と呼び掛け、原発については「県民の納得がない限り動かすことはできない」と力を込めた。

池田氏は、住宅街を中心に遊説し「安倍政権は再稼働を強力に推し進めようとしているが、言いなりにはならない」と強調。「再稼働は現状において同意できない」と訴えた。

安中氏は、商業施設で「原発は存在するだけでリスクがある。しっかり廃止しなければだめだ」と声を張り上げた。

（時事通信 2018/06/09-17:08）

新潟知事選、10日投開票 原発巡り訴え、与野党対決

共同通信 2018/6/9 21:24



新潟県知事選最終日に候補者の演説に耳を傾ける有権者＝9日午後、新潟市内

新潟県の米山隆一前知事の辞職に伴う県知事選は10日に投開票される。与野党系新人による事実上の一騎打ちで、激しい攻防となった。最終日の9日、焦点となった東京電力柏崎刈羽原発の再稼働問題や安倍政権の政策を巡り、新潟市内で訴えを繰り広げた。10日夜に大勢が判明する見通し。

立候補したのは前海上保安庁次長花角英世氏（60）＝自民、公明支持＝と元県議池田千賀子氏（57）＝立民、国民、共産、自由、社民推薦、元五泉市議安中聡氏（40）の無所属3新人。

1日現在の選挙人名簿登録者数は193万4077人。

無所属の会 新潟知事選に注力 旧民進党系勢力結集の場

毎日新聞 2018年6月8日 21時56分（最終更新 6月8日 21時56分）

衆院会派「無所属の会」（岡田克也代表）が10日投開票の新潟県知事選に注力している。知事選で野党連携の機運を高め、立憲民主党や国民民主党など旧民進党系勢力の結集につなげるためだ。

岡田氏は8日、新潟市で街頭演説し、「原発を心配する人が広く投票に行かないと、この勝負は勝てない」と野党系候補への支持を訴えた。岡田氏の新潟入りは告示後3回目。衆院新潟3区選出の黒岩宇洋氏や、中村喜四郎元建設相ら会派の議員が連日、てこ入れを図っている。

三重県では岡田氏や中川正春元文部科学相らが地域政党「三重新政の会」を結成。安住淳元財務相も地域政党の設立を検討している。千葉県では野田佳彦前首相が代表を務める政治団体「千葉民主連合」（仮称）が10日に発足する予定だ。

無所属の会は現在13人。野党結集の軸になるには、来年春の統一地方選でどれだけ地方に勢力を拡大できるかが課題になる。【樋口淳也、南茂芽育】

新潟県知事選、10日投開票 原発再稼働問題が焦点

日経新聞 2018/6/9 18:00

米山隆一前知事の辞職に伴う新潟県知事選は10日、投開票される。選挙は自民、公明両党が支援する前海上保安庁次長の花角英世氏（60）と、野党5党が推薦する元新潟県議の池田千賀子氏（57）との事実上一騎打ちの構図。県内に立地する東京電力柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題が焦点で、選挙結果は東電の経営再建や政府のエネルギー政策にも影響しそうだ。

知事選にはほかに、元五泉市議の安中聡氏（40）が立候補している。



知事選候補者の演説を聞く有権者（新潟県柏崎市）

原発再稼働に関して花角、池田両氏とも米山前知事が進めてきた東電福島第1原発事故の原因など「3つの検証」を進める方針を表明。両氏とも「検証が終わるまでは再稼働の議論を始めることはできない」とするが、検証期間は花角氏が2、3年程度、池田氏は最低3年以上としている。さらに池田氏は原発ゼロに向けた工程表を作る意向を表明している。安中氏は原発反対などを訴えている。

花角氏の陣営は地元首長や経済人が中心となって街頭演説するなど、政党色を薄め「県民党」を強調。一方、池田氏サイドは推薦する立憲民主党や国民民主党など野党幹部が前面に出て、与野党対決ムードを出している。

### 新潟知事選、終盤戦へ 「経済」「原発」訴え総力戦

2018/6/9 1:00 情報元日本経済新聞 電子版

米山隆一前知事の辞職に伴う新潟県知事選が10日に開票される。選挙戦は終盤を迎え、各候補は経済活性化や東京電力柏崎刈羽原子力発電所の再稼働といった問題で持論を訴えた。激戦を繰り広げる前海上保安庁次長の花角英世氏（60）と元県議の池田千賀子氏（57）には、それぞれ国政与野党の幹部が組織固めや応援に駆けつけ、総力戦の様相を見せている。



花角氏は新潟の活性化を訴える（8日、新潟市）

「活力があり多様な働き方ができる。働き場所、雇用がしっかりある。生き生きとした新潟県にしていきたいと思います」。8日午前、自民党と公明党が支持する花角氏はJR新潟駅前の街頭演説で有権者に呼びかけた。

国土交通省出身の花角氏は交通や観光といった行政の経験と手腕を訴えてきた。陣営は政党色を薄めた「県民党」で臨む。街頭に立つのは市民有志や地元議員が中心で、著名な国会議員が有権者の前に姿を表す機会は限られた。

一方で水面下の動きは活発だ。6日には自民党の二階俊博幹事長や岸田文雄政調会長ら党幹部が相次ぎ新潟に入った。花角氏と別行動で県内の団体や企業を回り引き締めを図った。公明党も組織力を生かそうと、党幹部や支援団体の関係者が現地入りしている。



池田氏は原発再稼働への慎重姿勢を強める（8日、長岡市）

野党統一候補の池田氏陣営は国会議員が続々と街頭に立った。2日は立憲民主、国民民主、共産、自由、社民各党と衆院会派「無所属の会」のトップ6人が勢ぞろいし、安倍政権批判も交え「共闘」を演出した。8日も無所属の会の岡田克也代表や自由党の小沢一郎共同代表が新潟入りした。

立民の辻元清美国対委員長は8日午前、長岡市の街頭で「(国に対し)体を張って闘う知事が良いか、家来のように後ろについてくる人を選ぶのか」と、元官僚の花角氏への批判をにじませた。

池田氏は「私が知事に就任しなかったら間違いなく柏崎刈羽原発は動き出す。国のエネルギー政策を変えるチャンスを失う」と語気を強める。「現状では再稼働に同意できない」と明言するなど再稼働への慎重姿勢をより鮮明にしつつある。

選挙関係者の多くは「勝敗を握る大きな鍵は投票率」（野党幹部）とみている。投票率が高いほど無党派層の支持を集めた候補が有利になる。2016年10月に実施した前回知事選の投票率は、12年の前々回を約9ポイント上回る53.05%だった。各陣営は無党派層の動向に気をもんでいる。

県政の課題は原発への対応、人口減、観光振興と山積している。燕市在住の男性会社員（28）は「新潟は活力を失っている。地域を元気にしてくれる人を選びたい」、長岡市の主婦（62）は「原発に強い不安を覚えている。ちゃんと安全を考えてくれるかを基準に投票先を決める」と語った。

知事選には元五泉市議の安中聡氏（40）も立候補している。

産経新聞 2018.6.8 21:15 更新

【新潟県知事選】野党系候補の応援演説で首相らを批判

## 佐高信氏「安倍のバカなバカ騒ぎ」、山口二郎氏「腐った男 いない」



佐高信氏（瀧誠四郎撮影）

評論家の佐高信氏や法政大学法学部の山口二郎教授らが8日夜、新潟知事選の立候補者、元県議の池田千賀子氏（57）＝立民、国民、共産、自由、社民推薦＝の応援に駆け付け、新潟市中央区のJR新潟駅前で安倍晋三首相や、ほかの知事選候補者を批判する演説を行った。

佐高氏は「安倍晋三は拉致問題を食物にして首相になり、無責任なことやってる。本当に拉致問題を解決したいなら平壤に乗り込め。そして帰ってくるな」と絶叫。聴衆からは「そうだ」と大きな声が上がった。

さらに、佐高氏は「安倍のバカなバカ騒ぎを打ち破るためにも絶対に勝たないといけない。自民党に天罰を、公明党に仏罰を」と声を張り上げた。

また、山口氏は「もう腐った男はいらない。女性の知事を実現させるべく、力いっぱい戦っていただきたい」と訴えた。

米山隆一前知事の辞任に伴う知事選は10日、投開票。元五泉市議の安中聡氏（40）、元海上保安庁次長で元副知事の花角英世氏（60）＝自民、公明支持、池田氏の無所属新人3氏が人口減少問題や産業振興などを争点に激しい舌戦を繰り広げている。

## 自公、カジノ法案、採決先送り＝野党反対、新潟知事選を考慮

自民、公明両党は8日、カジノを中核とする統合型リゾート（IR）実施法案について同日中の衆院内閣委員会での採決を見送った。立憲民主党など野党側が審議不足を主張し、山際大志郎委員長（自民）解任決議案の提出も辞さない構えを見せたため、自公は10日投開票の新潟県知事選前の混乱は避けるのが得策と判断した。自公は13日の採決を目指す。

自公は8日午前の中内閣委理事会で採決を提案。野党側は拒否し、委員会後に理事会を再開したが平行線に終わった。12日の理事懇談会で改めて協議する。政府・与党は20日までの会期を延長することを検討しており、今国会成立は譲らない方針だ。（時事通信 2018/06/08-12:16）

## IR法案 採決見送り 新潟知事選配慮、強行避け 衆院委

毎日新聞 2018年6月9日 東京朝刊

衆院内閣委員会は8日、カジノを含む統合型リゾート（IR）実施法案の採決を見送った。自民、公明両党は同委理事会で採決を主張したが、立憲民主党や共産党などは山際大志郎委員長（自民党）の解任決議案を提出する構えをみせて反対した。与党は13日にも同委で採決し、来週中の衆院通過を目指す。

与党が採決を強行しなかったのは、与野党対決型の新潟県知事選が10日に投開票されるためだ。自民党幹部は「マイナスの影響を避けた」と認めた。一方、立憲民主党の辻元清美国対委員長は党会合で「選挙前に採決すると都合の悪い法案。カジノ隠しだ」と批判した。

与党の思惑通りに進んだとしても、参院での審議に一定の時間が必要で、成立させるには20日までの会期の延長が避けられない状況だ。【浜中慎哉】

## 小泉氏、新潟入り見送り

自民党の小泉進次郎筆頭副幹事長が10日投開票日の新潟県知事選に関し、現地入りを見送る方向となった。複数の党関係者が8日、明らかにした。

知事選は事実上の与野党一騎打ちの構図。小泉氏の父である小泉純一郎元首相は告示前、野党推薦候補と面会した経緯があり、自民党内では「父親のことを聞かれるから入らない方がいいと判断したのだろう」との見方が出ている。（時事通信 2018/06/08-20:22）

しんぶん赤旗 2018年6月9日(土)

新潟知事選あす投票 再稼働ノ一的意思示そう 市民と



（写真）市民と野党の共闘で池田候補（中央）の必勝を、と盛り上がった市民大街宣＝8日、新潟駅南口広場

## 野党の力で池田候補押し上げよう

10日投票の新潟県知事選は、東京電力柏崎刈羽原発の

再稼働の是非を最大争点とし、最終盤も1票をめぐるしのぎを削る大激戦・大接戦となっています。再稼働反対をきっぱり訴える池田ちかこ候補は、市民と野党の共闘の力で勝利へ駆け上がろうと8日、長岡、新潟両市で訴え、夜は新潟駅前での市民大街宣に参加。「県民の命と暮らしを守る観点から、到底（再稼働に）同意できない。新潟のことは新潟で決める」と気迫を込め、「ちかこ」の熱いコールと拍手に包まれました。

最後まで奮闘が勝敗を決する情勢の中、市民らが宣伝や電話作戦に全力を挙げています。

一方、再稼働推進の安倍政権が丸抱えする相手候補は、再稼働の是非を語れず、企業・団体の引き締め到最后まで必死。麻生太郎財務相は7日の自民党麻生派の会合で、知事選での勝敗が「一連の流れの（政権に対する）評価に使われる」「予想は接戦だ」と危機感を示しています。

市民大街宣では、「市民の思いをつなぐ会」の佐々木寛共同代表が司会を務め、連帯する元経済産業省官僚の古賀茂明、拉致被害者家族の蓮池透、法政大教授の山口二郎、市民運動家の菱山南帆子、精神科医の香山リカ、慶応大名誉教授の金子勝、評論家の佐高信の各氏があいさつ。「再稼働にノーと言える人を知事にしなければいけない」（蓮池氏）、「県民の選択が日本の未来を切り開く」（山口氏）とエールを送りました。

日本共産党の穀田恵二国対委員長、立憲民主党の杉尾秀哉参院議員らも応援。穀田氏は「安倍政権は隠ぺい、改ざん、ねつ造が明らかになると居直る。池田さんの勝利で安倍政治にノーの審判を」「再稼働ノーの新潟県民の意思をあらためて示そう」と訴え、市民と野党の共闘で政治を変えようと力を込めました。

しんぶん赤旗 2018年6月9日(土)

新潟知事選 あす投票 “近所中 声かける” 池田氏訴え



(写真) 駆け付けた市民とがっちり握手する池田候補(右)＝8日、新潟県長岡市

に熱い拍手

「市民と野党が組み立ててくれた選挙に私が乗り、日に日に仲間が集まっている。どうかみなさんの手で勝たせてください」—池田ちかこ新潟県知事候補が選挙戦最終盤の8日朝、長岡市内でこう訴えると、聴衆から熱い拍手が起きました。

東京電力柏崎刈羽原発の再稼働の是非が最大争点の知事選は、再稼働大推進の安倍官邸と自民・公明が推す相手候補との、一票を争う大接戦・大激戦です。

池田候補は「私が知事に就任しなかったら間違いなく柏崎刈羽原発は動いてしまう」と、再稼働を認めない立場を強調。同時に、安倍政権の柏崎刈羽原発の再稼働を前提としたエネルギー政策を変えさせるためにも自らの当選が欠かせない、と懸命に訴えました。

池田氏の訴えを聞いていた長岡市の女性は「もう一步、とにかく近所中に声をかけて何としても勝たせたい」と言い、「新潟ショック 政権激震」を再び起こしたいと懸命です。幼子を連れた女性(30)は「原発を絶対動かしてほしくない」と期待を寄せます。

選対本部長の菊田真紀子衆院議員、無所属の会代表の岡田克也衆院議員、立憲民主党国対委員長長の辻元清美衆院議員らが応援に立ちました。

しんぶん赤旗 2018年6月9日(土)

「署名連行」 捜査を断念 東京・小金井署 守る会 勝利声明

東京都小金井市の「3000万人署名不当連行事件から3人の市民を守る会」は6日、小金井署が同事件の捜査を終結し、書類送検も行わないことを表明したことを受け、「勝利声明」を発表しました。

事件は3月31日、同市内で「安倍9条改憲NO! 3000万人署名」への協力を呼びかける訪問・対話に取り組んでいた市民3人が、「住居侵入」を口実に小金井署に不当に連行され、取り調べを受けたもの。

同署は5月30日、3人の弁護人のもとに、捜査を終結し、書類送検を行わないことを連絡。同時に刑事訴訟法の微罪処分も行わないことを説明しました。

「会」の声明は冒頭、「事実上の警察による捜査断念、中止の宣言であり、全国に広がった支援運動の大勝利です」と強調しました。

市民3人が集めようとしていた署名について「署名を通じて憲法改正についての意思を表明しようとするものであり、まさに国民主権を体現するものにほかならない」と指摘。警察による弾圧は「民主主義への挑戦であり、断じて許すことができない」と断じました。

その上で、警察の「捜査断念」は、「捜査そのものが理不尽であり、間違っていたことを自ら証明することだ」と指摘。「同時に、わずか2カ月間で大きく広がった支援運動が警察を追い込んだ」と強調しています。

## 防衛費、積み上げが基本＝小野寺防衛相

小野寺五典防衛相は8日の記者会見で、年末に改定する防衛大綱に関して自民党が、北大西洋条約機構(NATO)加盟国が防衛費の目標とする「国内総生産(GDP)の2%」を参考に増額すよう提言したことについて、「必要なものを積み上げていくことが基本だ。GDPと機械的に結び付けることは適切ではない」と述べた。(時事通信 2018/06/08-11:30)

## 防衛費のGDP比目標「不適切」 防衛相

日経新聞 2018/6/8 20:52

小野寺五典防衛相は8日の閣議後の記者会見で、防衛費の確保のために国内総生産(GDP)比の目標を定めることに否定的な考えを示した。自民党の安全保障調査会が、北大西洋条約機構(NATO)が目標とするGDP比2%を参考に防衛費の増額を求めたことについて「必要なものを積み上げるのが基本だ。GDPと機械的に結びつけることは適切ではない」と述べた。

「防衛力(整備)をさらに進めてほしいという議論の中から出てきた数字だと思う」とも述べた。

## 「軍事研究に関わらぬ」北海道大学 防衛省の資金を辞退

NHK 2018年6月8日 18時57分



大学などの研究に資金を出す防衛省の制度で助成を受けていた北海道大学は、今年度の資金を辞退したことを明らかにしました。防衛省によりますと、期間途中での辞退は初めてということで、北海道大学では「軍事研究に関わるべきではないと判断した」としています。

防衛省は、防衛装備品の開発につながる大学や民間の研究機関に資金を出す安全保障技術研究推進制度を平成27年度から始めています。

北海道大学では2年前に、水の抵抗を減らし船の燃費改善と高速化を目指した研究が採択され、2年間で2300万円余りの資金を受けました。

この研究には3年間資金が出る予定でしたが、大学はことし3月に辞退を伝え、今年度の資金を受けなかったということです。

理由について北海道大学は「日本学術会議が示した『軍事目的のための科学研究を行わない』とする声明も踏まえて

大学の姿勢を検討した結果、軍事研究に関わるべきではないと判断した」と説明しています。

これについて防衛省は「研究は自発的な意思に基づいて行われるべきであり、大学の意思を尊重したい」と話しています。

防衛省によりますと、これまでに全国で33件が採択されたということですが、期間の途中で辞退したケースは今回が初めてということです。

研究資金予算 年間100億円超 9大学が契約

防衛省によりますと、大学や研究機関などに研究資金を提供する制度が平成27年度に始まりました。

この制度は当初、年間およそ3億円の予算でスタートしましたが、大規模な研究を想定してこの2年間は100億円を超える予算がそれぞれ計上され、これまでに9つの大学が防衛省と契約していました。

## 安倍首相「北朝鮮と直接協議する決意」 日米首脳会談

朝日新聞デジタル 2018年6月8日 05時47分



トランプ米大統領(右)との首脳会談に臨む安倍晋三首相＝7日午後0時18分、ワシントンのホワイトハウス、岩下毅撮影

安倍晋三首相とトランプ米大統領は7日午後(日本時間8日未明)、ワシントンのホワイトハウスでの会談を終え、共同記者会見に臨んだ。首相は拉致問題解決に向け、「北朝鮮と直接協議していく決意だ」と述べ、日朝首脳会談の開催に意欲を示した。トランプ氏は北朝鮮との国交正常化について、「話し合いを進めていく。国交正常化に確かに期待している」と踏み込んだ。

日米首脳会談は、6月12日にシンガポールで開催予定の米朝首脳会談に向け、対応方針をすり合わせるために行われた。

両首脳は共同記者会見で、北朝鮮が核・ミサイル廃棄に向けた具体的な行動を取るまで国連安保理の制裁決議を解除しない方針を表明。首相は「トランプ大統領は『北朝鮮が行動するまで制裁は解除しない』と述べている。日本の立場もまったく同じであり、日米は完全に一致している」と強調した。

トランプ氏も、非核化などをめぐる米朝間の交渉が合意に達するまで「制裁は解除しない」と明言。ただ、「『最大限の圧力』は効果を生んできたが、この言葉はもう使わない。(北朝鮮と)友好的な交渉を行いたいと思っているからだ」とも述べた。

拉致問題をめぐり、首相は「早期に解決するため、私は北朝鮮と直接向き合い、話し合いたい。あらゆる手段を尽くしていく決意だ」と日朝首脳会談に意欲を示した。同時に「拉致問題の解決に資するものとなる首脳会談かということも当然考えていかなければならない」と強調。トランプ氏との会談でも拉致問題について詳しく説明したと明かし、「トランプ大統領にも理解いただき、日本の立場を支持していただいた」述べた。

これに対し、トランプ氏は「私たちの会話の中で重要な一部だった。北朝鮮とも話し合っていく」とし、米朝会談で拉致問題を提起する考えを改めて示した。

トランプ氏は対日貿易赤字にも言及し、「なんとか対応しなければならぬ問題」と指摘。「米国は日本と二国間の協定を持ち、公正さ、互惠関係をもって対応していくつもりだ。現在、貿易不均衡はかなりの額にのぼっている。我々の日本に対する輸出がバランスのとれたものになるように、双方に互恵的な貿易関係を結びたい」と強調した。

### 拉致進展に期待と注文＝日米会談受け与野党

トランプ米大統領が米朝首脳会談での日本人拉致問題提起を安倍晋三首相に約束した日米首脳会談の結果に対し、与野党幹部からは8日、拉致問題の進展を期待する声上がる一方、政府への注文も相次いだ。

自民党の岸田文雄政調会長は党本部で記者団に「タイミング、内容ともに有意義な会談だった」と強調。米朝会談については「米国には最善を尽くしてほしい」と語った。

公明党の山口那津男代表は参院議員総会で、拉致問題について「解決の当事者は日本自身だ。日朝首脳会談が行われる方向へ、しっかり歩んでいかなければならない」と述べるとともに、国交正常化交渉への発展にも期待を示した。

立憲民主党の福山哲郎幹事長は「一定の評価をしたい」と表明。ただ、トランプ氏が日米自由貿易協定（FTA）の締結を求めたことに関しては「北朝鮮の問題と貿易問題はディール（取引）をしてはいけない」とクギを刺した。

国民民主党の大塚耕平共同代表は「（首相はトランプ氏に）拉致問題の提起ではなく、解決を要求しなくてはならない」と注文。共産党の笠井亮政策委員長は「他人頼みにしないで、日本自身が主体的外交戦略を立てるべきだ」と政府に求めた。（時事通信 2018/06/08-18:09）

### 非核化実現に懐疑的＝正恩氏「信頼できない」大多数一日米調査

日本の民間団体「言論NPO」は8日、日米で実施した北朝鮮の非核化に関する世論調査結果を発表し、12日の米朝首脳会談が非核化への成果につながらないと回答した人が日本は52.2%となり、決定的な成果を期待できると答えた人の6.2%を大幅に上回った。

米国では「成果につながらない」との回答は35.9%。

「成果を期待できる」は21.8%と、日本を上回った。

4月の南北首脳会談を含めた一連の外交交渉が北朝鮮の核問題を解決するかという問いに対し、「大きく前進する」と答えた人は日本が2.8%、米国は13.2%だった。米国の方が楽観的な見方が多いことがうかがえるものの、「前進はあるが未解決のまま」も30.4%、「最終的な解決は将来的な課題になる」が25.7%と、懐疑的な見方も根強い。

北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の平和への意思を信頼できるかという問いに対し、「信頼できない」「どちらかといえば信頼できない」が日本は66.2%、米国は72.1%と大多数だった。また、非核化が進展すれば誰の功績かという問いに米国はトランプ大統領が62.9%と圧倒した。（時事通信 2018/06/08-16:26）

### 言論NPO調査 「米朝会談で成果」日6%<米21% 期待感に大差

毎日新聞 2018年6月9日 東京朝刊

非営利のシンクタンク「言論NPO」（工藤泰志代表）は8日、北朝鮮の非核化に関する米メリーランド大との共同世論調査の結果を発表した。12日に開かれる米朝首脳会談が「非核化への成果につながらない」との回答は日本は52.2%で、「決定的な成果が期待できる」の6.2%を大きく上回った。

一方、米国は「成果につながらない」が35.9%で、「決定的な成果が期待できる」が21.8%。日本の方が米国より会談を懐疑的に見ていることがうかがえる。

その他は「失敗に終わるがダメージは限定的」（米国13.5%、日本10.2%）▽「失敗に終わり、紛争のリスクが大きく高まる」（米国12.6%、日本5.8%）▽「わからない」（米国16.3%、日本25.3%）。

4月の南北首脳会談を含む一連の外交交渉が北朝鮮の核問題を解決するかとの問いでは「大きく前進する」と答えた人は日本2.8%、米国13.2%だった。

調査は日本は5月19日から6月3日に、米国は6月1日から5日に、それぞれ18歳以上の男女を対象に実施。日本は1000人、米国は1215人から回答を得た。【高木香奈】

### 米朝会談「期待」米国22%、日本6% 民間世論調査

日経新聞 2018/6/8 20:50

記事保存

非営利法人「言論NPO」が8日発表した北朝鮮の非核化に関する世論調査で、12日の米朝首脳会談への期待の度合いに日米両国民の間で差があることがわかった。米朝会談がどんな結果になると予測するか日米で同様の質問をしたところ「決定的な成果が期待できる」が米国で21.8%だったのに対し、日本では6.2%にとどまった。

4つの選択肢で聞いた。日米とも「いくつかの問題について進展があるが、非核化への成果にはつながらない」が最多で、日本では52.2%と半数を超えた。米国は35.9%だった。

北朝鮮の金正恩（キム・ジョンウン）委員長の平和への意思が信頼できるか聞くと「信頼できる」と「どちらかといえば信頼できる」の合計は日本で4.1%、米国で6.6%にとどまった。「信頼できない」「どちらかといえば信頼できない」は日本で66.2%、米国で72.1%に達した。

米メリーランド大学と共同で調査した。5月中旬～6月上旬に日本は書面で、米国はインターネットで実施。有効回答は日本が1000、米国が1215だった。

## 朝鮮戦争終結合意も＝トランプ氏、会談成功なら正恩氏の訪米招請



7日、ホワイトハウスで、安倍晋三首相（左）と共同記者会見するトランプ米大統領（AFP時事）

【ワシントン時事】トランプ米大統領は7日、日米首脳会談後の記者会見で、12日にシンガポールで開催される米朝首脳会談で、朝鮮戦争（1950～53年）の終結合意に調印する可能性がある」と明らかにした。その上で「すべてが片付いた時点で（米朝）関係が正常化することを望んでいる」と語った。

トランプ氏は「（合意調印は）最初のステップで、合意後に起きることが重要だ」と指摘。首脳会談で最大の焦点となる北朝鮮の非核化が「南北朝鮮の人々にとって、繁栄と安全と平和の新時代をもたらす」と述べ、核問題解決への意欲を改めて強調した。

また、米朝首脳会談が成功した場合、金正恩朝鮮労働党委員長の訪米を招請する可能性について「まずはホワイトハウスに招くことになるのではないかと前向きな考えを示した。先に金英哲党副委員長が手渡した正恩氏からの親書に関しては、あいさつと首脳会談への期待が記され、「とてもすてきな温かい手紙だった」と明かした。

ただ、「いつでも席を立つ準備はできている」とも述べ、北朝鮮の出方次第では協議を打ち切る可能性が残されていることを強調した。（時事通信 2018/06/08-06:29）

### 日米首脳共同会見 要旨

毎日新聞 2018年6月9日 東京朝刊

### <対北朝鮮>

トランプ米大統領 シンガポールでの米朝首脳会談は北朝鮮、韓国、日本、米国、世界にとって重要だ。引き続き緊密に連携する。北朝鮮にとって明るい未来となるだろう。

安倍晋三首相 北朝鮮問題に多くの時間を費やして話し合った。歴史的な会談の成功を強く期待する。すべての拉致被害者の帰国を日本国民は切に願っている。拉致問題を早期に解決するため、私は北朝鮮と直接向き合い、話し合いたい。あらゆる手段を尽くす決意だ。日本は日朝平壤宣言に基づいて不幸な過去を清算し、国交を正常化し、経済協力を行う用意がある。

大統領 金正恩朝鮮労働党委員長からの書簡は心温まるものだった。何かすばらしいことが起きるのではないかと。

（朝鮮戦争の終結合意は）最初のステップで、合意後に起きることが重要だ。

首相 拉致問題について大統領に十分理解いただいた。米朝首脳会談で金委員長に説明してもらえと思う。大統領は北朝鮮が行動するまで国連安全保障理事会の制裁は解除しないと述べている。日本の立場も同じだ。

大統領 最大限の圧力は効果を生んできたが、この言葉はもう使わない。友好的な交渉をしたいからだ。交渉の後、再び使う可能性はある。制裁を解除するつもりは当面ない。合意に達するまで制裁は解除しない。

首相 核・ミサイル問題は米朝首脳会談での前進を期待する。拉致問題は最終的に日本が北朝鮮と協議する。

### <経済・貿易>

大統領 公正で相互的な2国間協定を求めていく。貿易不均衡はかなりの額に上る。軍用機、旅客機など数十億ドルのさらなる製品を日本に購入してもらうことになるだろう。首相は日本が米国の工場に投資すると言った。【ワシントン】

## 「法的拘束力伴う合意を」＝北朝鮮の非核化めぐり－ICAN国際運営委員川崎さん



米朝首脳会談を前に、インタビューに答える「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」国際運営委員の川崎哲さん＝6日午後、東京都内

「北朝鮮の非核化は、法的拘束力を伴う形で合意すべきだ」。核廃絶に取り組み、2017年のノーベル平和賞を受賞した国際NGO「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」

N)の国際運営委員を務める川崎哲さん(49)は、12日に開催される史上初の米朝首脳会談に、こう求める。

I CANのベアトリス・フィン事務局長と川崎さんは、会談が行われるシンガポールで11日に記者会見し、非核化の政策提言を行う予定だ。

川崎さんは、非核化の実現には1953年に休戦協定が結ばれたままとなっている朝鮮戦争を終結させることが重要だと指摘。「いまだ戦争モードにあるという考え方が、北朝鮮の核開発の根っこにある」と分析する。

非核化は、保有している核兵器の解体や核物質の管理・処分などさまざまな手続きがあり、国際的な監視も必要になる。川崎さんは「まずは非核化の目標で合意し、ステップを踏んでいく形でもいいが、口約束で終わらせないためにきちんとした法的枠組みで担保することが重要だ」と説明。非核化のプロセスが盛り込まれた核兵器禁止条約に、北朝鮮と韓国が署名することを提案した。

北朝鮮の核問題をめぐっては過去の米政権も交渉してきたが、成果は得られなかった。川崎さんは「非核化と経済的メリットの取引という構図は今回も変わらないが、首脳同士による交渉は初めて。真剣さはこれまで以上だろう」とみる。

その上で、「名を残すためだけの政治的ショーに終わらせてはいけない。失敗すれば武力行使となり核兵器が使われる可能性もある」と警鐘を鳴らし、「北朝鮮にとどまらず、1万5000発あると言われる世界全体の核軍縮に道筋を付けてほしい」と訴えた。

I CANは、金正恩朝鮮労働党委員長ら北朝鮮代表団の宿泊費を含む会談経費の拠出を申し出て話題となったが、川崎さんは「核兵器廃絶の運動に対してももらった(ノーベル平和賞の)賞金なので、会談の費用が問題になるなら出そうと考えた」と語った。(時事通信 2018/06/09-15:15)

### 会期延長、与党が詰め調整＝カジノ、衆院通過へ攻防

与党は週明け以降、20日に会期末を迎える今国会の延長へ詰め調整に入る。カジノを中核とする統合型リゾート(IR)実施法案の成立を確実にするため、週半ばにも幹部が協議する。カジノ法案の成立阻止を掲げる立憲民主党などは、内閣不信任決議案提出も視野に徹底抗戦の構え。与野党の攻防には、10日投票票の新潟県知事選の結果も影響しそうだ。

与党はカジノ法案について、13日に衆院内閣委員会で採決した後、14日に参院に送付し、15日から参院で審議入りさせる段取りを描く。それでも20日までの残り日数は少なく、今の会期内に成立させられるかは微妙だ。

このため、与党は7月上旬まで20日間程度の延長を検討。安倍晋三首相は7月12～14日を軸にフランス訪問を調整しており、延長する場合も、首相の海外出張前までとなる見通しだ。

自民、公明両党幹事長・国対委員長は13日にも、カジノ法案をめぐる状況や野党の出方を分析するなど最終盤の国会対応を協議。延長について、首相官邸の意向も踏まえ判断する。

「働き方改革」関連法案は、参院厚生労働委での12日の参考人質疑と13日の地方公聴会が決まっている。与党は14日に委員会で採決し、15日の参院本会議での成立を目指す。

一方、立憲などはカジノ法案について「審議不十分」と批判を強めており、与党が採決に踏み切る場合、衆院内閣委の山際大志郎委員長(自民)の解任決議案を提出して対抗する。

与党が同決議案を否決すれば、石井啓一国土交通相や内閣に対する不信任決議案提出も検討。ぎりぎりまで抵抗を緩めず、週明けにも国対委員長らが対応を協議する見通しだ。

森友・加計学園をめぐる疑惑の追及も継続し、与党の幕引きを許さない考え。引き続き衆参両院予算委の集中審議や加計学園の加計孝太郎理事長らの国会招致を要求する。与党内にも「集中審議を1回は行わざるを得ない」(公明党幹部)との声もある。(時事通信 2018/06/09-15:13)

### 福田元首相も想定外の改ざん「政府が責任持って解決を」

朝日新聞デジタル聞き手・高橋淳、倉重奈苗 2018年6月9日05時00分



公文書管理

法と財務省の改ざん問題などについてインタビューに答える福田康夫元首相＝東京都港区、池永牧子撮影  
福田康夫元首相

「記録を残す」とはどういうことか。新しい法律ができたとします。それはどんな社会情勢の中で、どんな議論を経てできたのか。国民がその時々政治や行政を評価するためには、後々まで残る正確な記録が必要になる。それが選挙では投票行動につながり、政治家が選ばれ、政策が決まっていく。正しい情報なくして正しい民主主義は行われぬ。記録というのは民主主義の原点で、日々刻々と生産され続けるのです。

別の言い方をすれば、保存文書が歴史を作り、国家を形

成する。小さな石を積み上げて石垣を造っていくようなもの。ふだんは意識されないけれど、とても大事な作業で、日本という国は一体どういう国かといったら、そういうことの積み重ねの成果ではないでしょうか。

公文書管理をめぐる不祥事を、驚きを持って見えています。公文書管理法の制定に向けた準備を進めていた当時、なかには都合の悪い文書は作らない人たちもでるかなとは考えた。だがまさか、改ざんするなんて想像もしなかった。改ざんは、びっくりだね。

国会では政府が事実を小出しにし、また新たな事実が発覚する、ということが繰り返されている。これではいつまで経っても終わりませんよ。いつまでも果てない議論の責任は追及する野党の側にあるのではありません。原因をつくった政府が責任を持って解決することを目指さなければならぬ。

財務省の文書改ざんのような「事件」が起きたら、まず担当する大臣が「責任を感じます。徹底的に解明します」と言わなければならなかった。自分のことじゃないような顔をしていたのは残念。

◇

森友学園への国有地売却をめぐる公文書改ざん、交渉記録の廃棄。加計学園の問題では、国ではなく、愛媛県の文書で新たな事実がわかった。公文書管理法制定に尽力した福田康夫元首相が、朝日新聞のインタビューに応じた。(聞き手・高橋淳、倉重奈苗)

## 記録残さなければヘイトも生む 福田元首相が抱く危機感

朝日新聞デジタル聞き手・高橋淳、倉重奈苗 2018年6月9日05時00分



公文書管理法と財務省の改ざん問題

などについてインタビューに答える福田康夫元首相＝東京都港区、池永牧子撮影  
福田康夫元首相

今から30年前、日本では見つからなかった戦時中の日本の写真を米国の国立公文書館で見つけたことをきっかけに、記録の保存ということに関心を持ちました。立派な建物にきちんと整理保存してあるのに感動したわけです。

一方、日本はどうか。2007年に年金記録の紛失が明らかになりました。年金記録こそまさに公文書。薬害エイズ問題では、90年代後半に厚生省(当時)のロッカーに資料が埋もれていたこともあった。それほどに公文書管理は軽んじられていたのです。

いまでも寺院にいけば古い戸籍…

## 「加計学園はゼロ回答」 野党、国政調査権の発動を要求 朝日新聞デジタル河合達郎 2018年6月8日20時48分

加計学園の獣医学部新設をめぐり、参院予算委員会は8日の理事懇談会で、安倍晋三首相と加計孝太郎理事長との面会を否定した同学園の回答について対応を協議した。野党側は「内容が全くゼロ」と批判。国会法に基づく国政調査権を発動し、学園に資料を要求すべきだと与党側に求めた。与党は回答を保留した。

特集：加計学園問題

参院予算委は5月29日、愛媛県の文書に記載されていた2015年2月25日の首相と加計氏の面会について、学園が否定する理由や資料の提出を求めている。これに対し、加計学園は今月7日、面会を改めて否定。資料について「提出できる資料がないか確認中」とすることとどめていた。

8日の理事懇談会で、野党筆頭理事を務める国民民主党の川合孝典氏は「学園には任意で説明責任を果たすという意思が全く見られない」と批判。国政調査権に基づく議決を要求した。

国会法104条は、国会が政府…

## 公明・井上幹事長「加計理事長が説明責任を果たせ」

朝日新聞デジタル 2018年6月8日11時59分



井上義久・公明党幹事長

学校法人「加計学園」の獣医学部新設をめぐり、公明党の井上義久幹事長は8日の記者会見で「当事者が説明責任を果たすことが国民の理解を得る意味で必要ではないか」と述べ、同学園の加計孝太郎理事長自らが公の場で説明する必要があるとの認識を示した。一連の問題で加計氏は一度も記者会見を開いていない。

愛媛県の文書には、安倍晋三首相と加計氏の面会が書かれていた。学園側は面会の事実を否定し、架空の話を愛媛県と同県今治市に伝えたと説明している。井上氏は「加計学園は教育機関であり、(加計氏は)その責任者だ。獣医学部もスタートし、学生もいる」とも指摘。教育機関として説明責任を果たすべきだとの考えを示した。

また、この問題をめぐり自民党の小泉進次郎・筆頭副幹事長が特別委員会設置の必要性を訴えたことについては、「筆頭副幹事長ですから、自民党としてしっかり結論を出して欲しい」と要望した。

## 国民・大塚氏「おかしさ、追及を」 加計学園の回答に 朝日新聞デジタル 2018年6月8日 11時48分



大塚耕平・国民民主党共同代表

大塚耕平・国民民主党共同代表（発言録）

加計学園について、「(安倍晋三首相と学園理事長との)面会がなかったということを証明する資料は破棄したかもしれない」という(参院予算委員会に回答した学園の)コメント。このおかしさを、ぜひ追及してください。

面会が本当になかったなら、それに関する資料はないはずだ。面会がなかったということを証明する資料を破棄したかもしれないというのは、面会があったということが示唆されている資料を破棄したと述べていることと同義だ。

全く奇々怪々な国会だが、残された会期も追及の手を緩めることなく、その他の政策課題も全力を尽くしていただきたい。(党会合で)

## 森友改ざんは「首相答弁が契機」 自民幹部、その後撤回 共同通信 2018/6/8 21:37

自民党の柴山昌彦総裁特別補佐は8日、財務省による森友学園の決裁文書改ざんについて、国有地売却に関わっていれば辞任するとして安倍晋三首相の昨年2月の国会答弁が「きっかけになったことは紛れもない事実だろう」との見方を示した。改ざんの再発防止策を検討している党会合後、記者会見で述べた。その後「誤解を与える発言だった」と撤回した。

会見で柴山氏は「首相発言をきっかけに佐川宣寿前国税庁長官が答弁した。その答弁が生煮えだったため、それに合わせる形でさまざまなボタンの掛け違いが続いた」とした。

産経新聞 2018.6.8 18:57 更新

## 自民・柴山昌彦筆頭副幹事長、決裁文書改ざんは「首相答弁がきっかけ、紛れもない」

自民党の柴山昌彦筆頭副幹事長は8日の記者会見で、学校法人「森友学園」への国有地売却に関する財務省の決裁文書改ざん(かいざん)問題に絡み「報道が指摘する通り、国会における安倍晋三首相の答弁が少なくともきっかけになったことは紛れもない事実だろう」と述べた。



自民党の柴山昌彦筆頭副幹事長

記者会見に同席した新藤義孝政調会長代理は柴山氏の発言について「(改ざんは)首相の発言で指示が出たわけではない」と否定。「佐川宣寿前国税庁長官が自分の答弁の整合性を図るためにやった。原因は首相の答弁ではないと私たちは思っている」と釈明した。

記者会見は、柴山氏が座長を務める党の文書改ざん問題に関する党の調査プロジェクトチームと、新藤氏が委員長を務める公文書管理改革検討委員会の合同会議後に開かれた。

産経新聞 2018.6.9 08:47 更新

## 自民・柴山筆頭副幹事長、決裁文書改ざんは「首相答弁がきっかけ」と発言→のちに撤回

自民党の柴山昌彦総裁特別補佐は8日、学校法人「森友学園」への国有地売却に関する財務省の決裁文書改ざん(かいざん)問題に絡み「報道が指摘する通り、国会における安倍晋三首相の答弁が少なくともきっかけになったことは紛れもない事実」との考えを示した。改ざんの再発防止を検討している党会合後の記者会見で述べた。

同席した新藤義孝政調会長代理は柴山氏の発言について「(改ざんは)首相の発言で指示が出たわけではない。佐川宣寿前国税庁長官が自分の答弁の整合性を図るためにやった」と否定した。

柴山氏は8日夜、党本部で記者団に対し、「『きっかけ』という表現は時系列的な出発点という意味で、首相答弁が改ざんの原因と受け取られたのは不慮だった」と釈明し、発言を撤回した。

## 自民・柴山氏の「改ざんは総理答弁きっかけ」→発言撤回 朝日新聞デジタル 2018年6月8日 21時38分

森友学園との国有地取引に関する財務省の公文書改ざん調査について、自民党の柴山昌彦・筆頭副幹事長は8日、記者団に「(改ざんは)国会における総理の答弁が少なくともきっかけになったことは紛れもない事実」と述べた。麻生太郎財務相は首相答弁が改ざんのきっかけになったことを否定しており、柴山氏は同日夜、発言を撤回した。

財務省が4日に公表した調査報告によると、改ざんの始まりは、昨年2月に首相が「私や妻が関係していれば、首相も国会議員も辞める」と国会で答弁した後。麻生氏は5日、「首相発言をきっかけとして、そういうことになったという事実は認められていない」と説明している。

柴山氏は8日、自身が座長を務める改ざん問題に関する調査プロジェクトチームと党公文書管理改革検討委員会との合同会議に出席。会議後の記者団への説明で「首相答弁がきっかけ」との認識を示した。同日夜になって記者団に「発言に丁寧さを欠いていた。誤解を与えたことをおわびしたい」と陳謝。「時系列的な表現として『きっかけ』と使ったが、改ざんをもたらす原動力と受け取られる不用意な発言だった」と話した。

### 「総理答弁がきっかけ」自民 柴山氏 文書改ざんめぐり発言撤回

NHK6月8日 23時49分



財務省による決裁文書の改ざん問題をめぐり、自民党の柴山筆頭副幹事長は記者団に対し、「安倍総理大臣の答弁が、少なくともきっかけになった」などと述べましたが、その後、誤解を与える不用意な発言だったとして撤回しました。財務省による決裁文書の改ざん問題をめぐり、自民党の柴山筆頭副幹事長は8日夕方、記者団に対し、安倍総理大臣が去年2月、森友学園への国有地売却について「関係していたら総理大臣も辞める」などと答弁したことに関連し、「安倍総理大臣の答弁が、少なくともきっかけになったことは紛れもない事実だろう」と述べました。これについて柴山氏は8日夜、改めて記者団に対し、「『きっかけ』という表現が、時系列的な単なる出発点という意味で使ったにもかかわらず、あたかも改ざんをもたらす原動力、原因だったと受け取られたのは不用意だった」と釈明しました。そのうえで「きっかけというのが契機と捉えられてしまうとすれば撤回したい」と述べました。

### 森友、二つの首相答弁「同趣旨」 関与巡り政府決定

共同通信 2018/6/8 18:38

政府は8日の閣議で、森友学園への国有地売却について、関与していたら「首相を辞める」とした安倍晋三首相の昨年2月の国会答弁と、金銭を伴う関与はしていないとした今年5月の答弁の「趣旨は同じだ」とする答弁書を決定した。「関与」の範囲を限定して軌道修正を図ったとの野党の批判に反論した形だ。

首相は昨年2月の衆院予算委員会で「私や妻、事務所が関わっていれば、首相も国会議員も辞める」と明言。今年5月の同委員会では「お金のやりとりがあつて頼まれて行

政に働き掛けた、という意味での関わりはない」と説明していた。

### 森友問題 「首相辞める」の「関係は贈収賄に限定」の趣旨

毎日新聞 2018年6月8日 18時12分(最終更新 6月8日 18時12分)

政府が答弁書を閣議決定

政府は8日、学校法人「森友学園」への国有地売却問題を巡って、安倍晋三首相が昨年2月17日に国会で「私や妻が関係していたら首相も国会議員も辞める」と述べた後、今年5月28日の答弁で「関係」の意味を贈収賄に限定したことについて、「趣旨は同じ」との見解をまとめた。立憲民主党の逢坂誠二氏の質問主意書に答えた。

8日に閣議決定した政府答弁書は、昨年2月と今年5月の首相答弁を同趣旨と判断した理由として、首相が昨年3月24日の国会答弁でも「お金の流れ」に限定して「私も妻も関わっていない」と述べたことを挙げた。ただ、昨年2月と昨年3月の答弁の整合性については言及していない。

【野口武則】

### 森友 “関わっていたら議員辞める” 「2つの首相答弁は同趣旨」

NHK2018年6月8日 16時04分



森友学園をめぐり問題に関連して安倍総理大臣が「関係していたら総理大臣を辞める」などと答弁し、その後、「贈収賄などではないという文脈で、一切関わっていない」と述べたことについて政府は、2つの答弁は同じ趣旨だとする答弁書を決定しました。

森友学園への国有地売却について安倍総理大臣は去年2月、「私や妻が関係していたら、総理大臣も国会議員も辞める」と答弁しました。

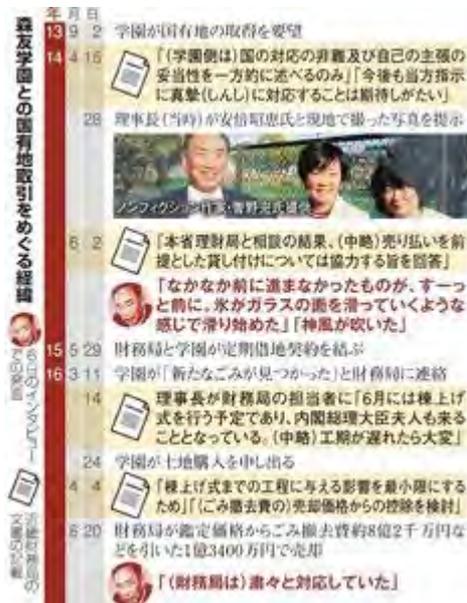
そして先月、安倍総理大臣は去年2月の答弁の趣旨を質問され、「贈収賄などではないという文脈で一切関わっていないと申し上げている」と述べました。

立憲民主党の逢坂誠二衆議院議員は、先月の答弁は新たな解釈の表明だとして、去年2月の答弁との整合性を問う質問主意書を提出しました。

これに対し政府は8日の閣議で「安倍総理大臣が先月の国

会で『私が新しい定義を定めたわけではない』と答弁しているとおりで、2つの答弁は同じ趣旨だ』などとする答弁書を決定しました。

「いい土地」発言の根拠求められ昭恵氏との写真 籠池氏 朝日新聞デジタル岡戸佑樹、畑宗太郎 2018年6月8日 11時16分



森友学園との国有

#### 地取引をめぐる経緯

森友学園（大阪市）との国有地取引では、二つの節目がある。一つは賃貸契約に向けた2014年4月の学園と財務省近畿財務局との面会。そして16年3月以降の売買契約に向けた交渉だ。学園の前理事長、籠池泰典被告（65）＝詐欺罪で起訴＝の6日のインタビューでの発言と、改ざん問題の発覚後に財務省が開示した文書から改めて経緯をたどると――。

学園は2013年9月に国有地の取得要望を出した後、しばらく土地を借りた後に買い取る契約を財務局に求めている。国有地取引の原則は売却。今年5月23日になって財務省が開示した交渉記録には、学園のことがこう記されている。

「国の対応の非難及び自己の主張の妥当性を一方的に述べるのみ」「指示に真摯（しんし）に対応することは期待し難い」（14年4月15日）

対応に苦慮していることがにじむ記載。その13日後、前理事長は財務局側と面会し、現地で撮った安倍晋三首相の妻、昭恵氏との写真を見せた。前理事長が逮捕前から証言し、財務省が今年3月に開示した改ざん前の文書で裏づけられた出来事だ。文書には、昭恵氏から「いい土地ですから、前に進めてください」と言われたという前理事長の発言も記されている。

なぜ写真を示したのか。前理事長は財務局側から「本当にそういうこと（昭恵氏の発言）があったと証明できるも

のはあるかと尋ねられた」ためだとインタビューで説明。「写真をお見せした時は（職員の）心のつかえが取れたような風情だった」とも述べた。

面会の35日後、財務局は学園側に「売り払いを前提とした貸し付けに協力する」と回答（改ざん前文書の記載）。籠池前理事長は、面会を機に財務局が協力的になったとの見方を示し、こう振り返った。「借地の件とか、前に進まなかったものが、氷がガラスの面を滑っていくような感じで滑り始めた」

学園は15年5月、10年以内の購入を前提とした借地契約を締結した。

学園は16年3月11日、国有地から「新たなごみが見つかった」と近畿財務局に連絡。3月24日にはごみ撤去費を差し引いた額で土地を買い取ると申し出た。

当時の交渉で、前理事長が「棟上げのときに首相夫人が来られる」と財務局側に迫っていたことが今年1月、音声データ（菅野完氏提供）で明らかになった。

安倍首相は棟上げに「妻は行っていない」と国会で答弁。一方、そのころの財務省の文書には「棟上げ」の文言が何度も登場する。

「6月の棟上げ式には首相夫人を招待する。できなければ切腹する覚悟」と前理事長が発言（3月30日の交渉記録）。「学園は棟上げ式に向けタイトなスケジュール」「対応方針 棟上げ式までの（校舎建設の）工程に与える影響を最小限にするため（ごみ撤去費の）売却価格からの控除を検討」（4月4日付メモ）――。

前理事長はインタビューで、昭恵氏は来なかったが、「本来はお越しいただくことになっていた」と改めて主張。財務省の文書の記載について「棟上げに間に合わせないといけないと受け取っていたということ」と述べ、財務局側は「粛々と対応していたように見えた」と振り返った。

学園は6月20日、ごみ撤去費約8億2千万円などを引いた約1億3千万円で土地を買う契約を結んだ。（岡戸佑樹、畑宗太郎）

「選挙前には評判悪いこと先送りしたがる」枝野氏 朝日新聞デジタル 2018年6月8日 21時40分



立憲民主党の枝野幸男代表

枝野幸男・立憲民主党代表（発言録）

本当は今日、（衆院）財務金融委員会をやって、「なんで麻生さん辞めないの」とやろうと思ったんです。そうしたら、何の理由もなく、委員会が開かれなくなりました

ね。カジノギャンブル法案を「今日採決する」と昨日まで自民党は言っていた。冗談じゃない、ほとんど審議していないじゃないか。今日になったら、「やっぱり採決しません」。これはいいことだけど、だったらもうするな。

あさって、中野区長選もある。新潟県知事選もある。(自民党は) その前には評判の悪いことは先送りにしたい。(中野区長選、同区議補選応援演説で)

### 「腹心の友の加計さんが一番憂えているかも」石破氏 朝日新聞デジタル 2018年6月8日 21時08分



自民党の石破茂・元幹事長

自民党の石破茂・元幹事長 (発言録)

(加計学園問題の世論調査で「納得できない」の回答が多いことについて) (安倍晋三) 総理がうみを出し切るとおっしゃったのに、そうっていない。総理の思いにも反した結果だ。加計で国会が混乱するのは、国家にとって大損失。だけど、疑惑が続いたまま、国政が運営されることもあってはならない。

総理の話だと、(加計学園理事長の) 加計孝太郎さんは立派な人らしい。一国の総理大臣の腹心の友だから、きっと人格、識見、立派な方だと思うし、国がこんな状況なのを一番憂えているかもしれない。予算をどう使うか、重要事項を審議するのが(国会の) 予算委員会。それに専念でき、問題がきちんと解明するためには特別委員会(の設置)もひとつの考え方だ。

加計さんが「こういうことだ」とおっしゃれば、随分と変わるのではないか。大親友の総理が心を痛めているわけで、大親友の加計さんが安倍さんを救うだけでなく、国民の政治への信頼低下を自らが払拭(ふっしょく)することがあると、全然違う。なぜ出てこれないか全く分からない。出てこれない理由があれば、それをおっしゃればいい。(TBSの番組収録と記者団の取材に)

### 核禁止条約に実効性を 長崎市の平和宣言原案 共同通信 2018/6/9 11:43



平和祈念式典で読み上げる平和宣言文の原案について説明する長崎市の田上富久市長＝9日午前、長崎市

長崎市は9日、今夏の「長崎原爆の日」に開く平和祈念式典で田上富久市長が読み上げる平和宣言文の第2回起草委員会を開き、委員らに原案を提示した。核兵器禁止条約が実効性を持てるような取り組みをするよう、日本政府に求める内容を盛り込んだ。

条約発効のため、昨年7月の採択時に賛成した国々に、早く批准するよう注文。反対した核保有国などには、核依存から脱するよう求めている。

この日の議論で委員からは、条約に賛同するよう政府へ明確に求めるべきだとの意見が出た。自衛隊の明記を掲げた安倍晋三首相の憲法9条改正案への言及を求める声もあり「危惧を語ってほしい」との注文も付いた。

### 核兵器禁止条約への賛同求める 長崎市の平和宣言素案

朝日新聞デジタル 田部愛、伊藤繭莉 2018年6月9日 17時33分

8月9日の長崎原爆の日の平和祈念式典で長崎市長が読み上げる「平和宣言」の第2回起草委員会が9日開かれ、市が宣言の素案を示した。核をめぐる国際情勢に言及し、日本を含む世界の国々に対して、昨年7月に採択された核兵器禁止条約に賛同するよう求める内容。また、昨年亡くなった被爆者の土山秀夫さんや谷口稜暉(すみてる)さんの言葉を引用し、平和への思いを次世代に引き継ぐ決意なども盛り込んでいる。

素案は、先月行われた第1回委員会で被爆者や大学教授、大学生ら15人の委員から出た意見を踏まえた。田上富久市長は「核なき世界に向けて前に進めようとする動きとそれを止めようとする動きがある中で、原点を確認する宣言にしたい」と説明した。

素案では、昨年の核兵器禁止条約採択や核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)のノーベル平和賞受賞に言及。政府に対して核禁条約の署名や批准を求めることや平和を生む基盤を作ることなどを、世界の市民にも呼び掛けている。

素案は北朝鮮の核開発をめぐる情勢にも触れており、委員からは「8月までに情勢が変わる可能性があるため、米朝首脳会談などを踏まえ、長崎らしいメッセージにしてほしい」などの意見が出た。(田部愛、伊藤繭莉)

## 自民案に反対論続出＝参院選挙制度改革



参院改革協議会に臨む各党の代表者。中央は座長の吉田博美自民党参院幹事長＝8日午後、国会内

参院各会派の代表者による参院改革協議会（座長・吉田博美自民党参院幹事長）が8日、国会内で開かれ、参院選の選挙区と比例代表それぞれの定数を増やす自民党の改革案について協議した。各派からは「憲法に明記された『全国民を代表する』との趣旨に反する」（立憲民主党）などと反対論が続出。吉田座長はこの後、伊達忠一議長に同日の議論を報告し、対応を一任した。

自民党案は、合区対象県選出議員を救済するため、比例の拘束名簿式を一部復活させるもの。同党は来年の参院選に間に合わせるため、今国会中の成立を目指している。

これに対し、協議会では国民民主党が「かえって合区を固定化することにならないか」と疑問を呈し、共産党は「賛同できない」と反発。日本維新の会は「定数増は容認できない」との立場を示し、希望の党は「一つの党の都合で制度を変えるのは普遍性、公平性の観点から問題だ」と述べた。（時事通信 2018/06/08-17:26）

## 参院「合区」救済の自民案に野党の反対相次ぐ「党利党略だ」

NHK2018年6月8日 17時36分



参議院選挙の1票の格差を是正し、「合区」となった県を救済するため参議院の定数を6増やすなどとした自民党の案について、野党側からは「定数の増加に国民の理解は得られない」などと反対する意見が相次ぎました。

参議院の選挙制度をめぐって8日の参議院改革協議会では、埼玉選挙区の定数を2増やして1票の格差を3倍未満に抑えるほか、比例代表の定数を4増やしたうえで、あらかじめ政党が決めた順位に従って当選者を決められる「特定枠」を導入する、などとした自民党の案について、各党が意見を交わしました。

公明党は「選挙区の定数を増やすことは1票の格差是正の

ためにやむを得ない」と一定の理解を示す一方、野党側からは「人口が減少している中で定数を増やすことに国民の理解は得られない」などと反対が相次ぎました。

また「特定枠」の導入についても「制度が複雑になりすぎる」「自民党の党利党略だ」などの指摘が出されました。これを受けて協議会の座長を務める自民党の吉田参議院幹事長は、今後の議論の進め方を伊達参議院議長とも相談して調整したいという考えを示しました。

## SUGIZOさん大学研究員に 水素活用しコンサート 朝日新聞デジタル神沢和敬 2018年6月9日 11時57分



社会問題への取り組みについて語るSUGIZOさん＝東京都渋谷区



ロックバンド「LUNA SEA」「X JAPAN」のギタリスト、SUGIZOさんが、多摩大学の客員研究員に就任し、再生エネルギーの活用方法などについて研究を始めると発表した。20年前から社会問題の解決に積極的に取り組んでおり、3日にあった環境省のイベントで思いを語った。

「重要なのは意識のシフトチェンジ。同じ仕事、同じ活動をしていますが、何をチョイスするかというちょっとした違いで、生活にも世の中にも良い影響を与えてくれる」

3日、東京都渋谷区の代々木公園で開催された環境省主催のエコライフ・フェアに登壇したSUGIZOさんが来場者に呼びかけた。

昨年12月には、さいたまスーパーアリーナ（さいたま市）であったLUNA SEAのライブで、メンバーが演奏する楽器の電源を、全て水素燃料電池車から引いた。太陽光発電でつくられた電気で生成された水素を利用するなど、「再生可能」にこだわったという。

会場全ての電源を水素からのエネルギーに置き換えることは現在は難しいというが、実現のために水素発電の装置を常備したライブ会場づくりも呼びかけている。

イベントでは、多摩大学ルール形成戦略研究所の客員研究員に就任することを表明。水素エネルギーを利用したライブの方法などを確立し、研究者として世界に伝えていきたいとの意気込みを語った。

同研究所の国分俊史所長は、東日本大震災後に高まった環境への問題意識が徐々に下火になっていることを引き合いに、「危機感だけで課題に取り組むと疲れてしまう。前向きに取り組める機運をつくるのが大切。日本を代表するギタリストのSUGIZOさんが周りを巻き込んで取り組むことには意味がある」とイベントで語った。（神沢和敬）

**是枝監督、文科相の祝意を辞退 「公権力とは距離保つ」**  
朝日新聞デジタル 2018年6月8日 20時39分



是枝裕和監督

「万引き家族」でカンヌ国際映画祭の最高賞（パルムドール）を受賞した是枝裕和監督（56）が7日、林芳正文部科学相が対面して祝意を伝えたい意向を国会で示したことに対し、「公権力とは距離を保つ」として祝意を辞退する

考えを自身のサイトで明らかにした。

発端は7日の参議院文部科学委員会。文化政策について尋ねた神本美恵子議員（立憲民主党）が、安倍晋三首相がノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」に祝意を示さなかったことをあげ、「好きな人だけお祝いをするのはいかなものかと思う」と指摘。その上で、林大臣に「ぜひ近いうちに（是枝監督に）祝意を述べていただきたいのと、総理にちゃんとやりなさいと言っていたきたい」と述べた。これに対して、林大臣は「大変いいアイデアをいただいた。来ていただけるかどうか分からないが、お呼びかけはしたい」と答弁した。

一方、是枝監督は同日付で「『祝意』に関して」とする文章をサイトに掲載。受賞を顕彰したいとする団体や自治体からの申し出を全て断っていると明記し、「映画がかつて、『国益』や『国策』と一体化し、大きな不幸を招いた過去の反省に立つならば、大げさなようですがこのような『平時』においても公権力（それが保守でもリベラルでも）とは潔く距離を保つというのが正しい振る舞いなのではないかと考えています」とした。

林大臣は8日朝の閣議後会見で改めて、「国会で祝意を表したつもりだが、もし受け入れていただけるのなら、改めて祝意は述べたい」と話した。

**夫と同居あの中世で…樹木希林の語る半生「上出来でした」**  
朝日新聞デジタル聞き手 編集委員・石飛徳樹 2018年6月9日 10時08分

今年のカンヌ国際映画祭で最高賞パルムドールを獲得した「万引き家族」（是枝裕和監督）の全国公開が8日から始まり、カンヌでは俳優たちの演技が高い評価を受けていたようです。安藤サクラさんやリリー・フランキーさんら、芸達者の出演者たちをとりまとめる“祖母”の役で出演しているのがベテラン俳優の樹木希林さんです。樹木さんがその半生を縦横に語った連載「語る 人生の贈りもの」（全14回）をまとめてお届けします。



樹木希林さん

＝東京都中央区築地、村上健撮影  
「少々焦げてもいいですから」

がんと付き合っ、もう13年になります。これまでに30カ所を治療してきました。でも、口だけは達者だから、何だか元気そうに見えるらしくて、「死ぬ死ぬ詐欺」なんて言われてますけどね。

《2005年、乳がんで右乳房全摘出手術。13年の日本アカデミー賞授賞式で、全身がんであることを公表した》

乳がんの時はね、胸にしこりがあったので、病院で先生に「がんですよね」と聞いたら「いや、違うでしょ」と答えるの。「きっと、がんですよ」と粘るとね、「じゃあ調べてみましょう」と。検査後に先生が「やっぱりがんでした。よく分かったねえ」と感心するのよ。私の場合、がんの告知まで、間の抜けた感じになっちゃうのよね。

その後、体のあちこちに転移したので、最近では年1回、鹿児島島の病院へ放射線治療を受けに行っていました。1日たった10分の照射。でも1カ月かかるのよ。人生を見つめ直す良い機会になったけれど、飽きてくるでしょ。「先生、1週間で仕上げてもらえませんか。少々焦けてもいいですから」って言ったんだけど。

でも、闘病しているという気持ちは全然なかったわね。抗がん剤治療で苦しむ患者さんを何人も見ました。でも、私の治療法だと、生活の質が全く落ちなかった。だから、とても満足しています。

病気になったことでメリットも…

### 三枝成彰さん率いる男声合唱団、NYで平和コンサート

日経新聞 2018/6/9 11:18

【ニューヨーク＝西邨紘子】作曲家の三枝成彰さん率いるアマチュア男声合唱団「六本木男声合唱団Z I G—Z A G」が8日、大友直人氏が指揮する東京フィルハーモニー交響楽団と共にカーネギーホールで公演した。

演目は三枝さん作曲の「最後の手紙」。同曲は、第2次世界大戦で犠牲になった兵士などが12か国13人が、家族や愛する人にあて書き残した手紙を主題とした三枝さんの作品。2010年に日本で初演し、海外公演は今回が5回目という。



8日、カーネギーホールの演壇に並ぶ「六本木男声合唱団Z I G—Z A G」（米ニューヨーク）

Z I G—Z A Gは元首相や企業トップ、弁護士、医師など各界の著名人の参加で知られる。今回の公演のため総勢で100人超の団員が海を越えた。多忙な仕事の合間を縫って練習を進める苦労もあるが、カーネギー公演では「出席率になみならぬ熱意が垣間見えた」（三枝さん）という。

歴史的な米朝会談を控えたタイミングでの米国公演について三枝さんは「米国の聴衆に戦争の不幸を二度と繰り返したくないという気持ちを届けたい。将来は平壤でもぜひ公演したい」と平和への願いを訴えた。

7月18日には、サントリーホール（東京）で同内容の凱旋公演を予定している。

### ペシャワール会の中村哲医師に土木学会賞技術賞

日経新聞 2018/6/8 17:05

土木学会は8日、アフガニスタンで長年にわたり用水路建設や農業振興に取り組む中村哲医師（71）に、2017年度の土木学会賞技術賞を贈った。

中村氏は非政府組織（NGO）「ペシャワール会」現地代表。深刻な干ばつに悩む現地で、福岡県朝倉市に残る治水設備「山田堰（ぜき）」など江戸時代の技術を使った用水路を建設。1万6千ヘクタールの農地と60万人に水の恵みをもたらした。

中村氏は「アフガンには昔ながらの技術が合っていた。先端技術でなくとも確実に水を届け、人の役に立ったと認めてもらった」と喜んだ。

### 釈放4年「今も自分の世界」＝袴田さん、姉と穏やかな日々

裁判のやり直しを求めている袴田巖さん（82）は、浜松市の自宅で姉秀子さん（85）と穏やかな日々を過ごす。釈放から4年たつが、拘留所で長年、死刑執行の恐怖にさいなまれてきた影響からか、会話はおぼつかないまま。「巖はまだ自分で作った世界にいる」。秀子さんは老いた弟の将来を案じながら、東京高裁の判断に期待を込める。

散歩が日課の袴田さんは、長いときは6時間かけて街を歩く。ベンチに腰掛けて菓子パンを食べたり、自動販売機で買った缶コーヒーを飲んだりする。

真っすぐ歩いたかと思えば、急に立ち止まり、見上げたビルにピースサイン。交番前では帽子を取って敬礼も。秀子さんは「本人は街を守る仕事のつもりで出掛けている。自由にさせるのが一番の治療になる」と話す。

ポケットには折りたたんだティッシュを何枚も入れている。拘留所での習慣といい、支援者は「（長年の拘留による）拘禁症状の一つ。そうしなければ落ち着かないのだろう」と語る。

釈放直後に厳しかった表情は徐々に和らいだが、会話の内容が判然としないことも多い。ただ、裁判の話になると「ありゃせん。全部うそなんだ」と口調が変わる。

3月10日に自宅で開かれた誕生日会には、支援者ら約10人が集まり、バースデーカードや鉢植えが贈られた。

「200歳まで生きたい」。ケーキをおいしそうに平らげる袴田さんの傍らで、秀子さんは「90歳まで生かしてやりたい」と話した。（時事通信 2018/06/09-15:07）

袴田さん、今も拘禁反応 釈放後初めて書いた「幸せ」  
朝日新聞デジタル矢吹孝文、宮川純一 2018年6月9日 08時13分



J R浜松駅周辺を、傘

を差して歩く袴田巖さん。雨のこの日も休憩をはさみながら、地下道の階段も多い道を約3時間半、前傾姿勢の早足で黙々と歩いた＝5月30日午後2時54分、静岡県浜松市中区、宮川純一撮影

1966年に静岡県で一家4人が殺害された事件で死刑が確定した、袴田巖さん(82)＝浜松市＝について、東京高裁(大島隆明裁判長)が11日、再審開始を認めるかどうかの決定を出す。

袴田さんは現在、故郷の浜松市のマンションで姉の袴田秀子さん(85)と暮らす。JR浜松駅周辺を歩くのが日課で、すれ違う人から「応援しとるで」と声をかけられることもある。

48年に及んだ拘禁生活の影響で袴田さんは精神を病み、意味が通じない発言も多い。自分のことを「神」や「最高権力者」と語ることもある。秀子さんによると、自身と敵対する存在を思い浮かべてか、「ばい菌」や「ゴミ」という言葉を口にすることも多い。「文章を書かせても同じ。拘置所に入っている時からそうだった」(秀子さん)という。

5月には、支援者らがメッセージや意見を書き込める「袴田巖さんの壁」が静岡市内で除幕され、袴田さんも「幸せの花」と書き込んだ。秀子さんによると、袴田さんが「幸せ」という言葉を使ったのは、釈放後初めて。「今は幸せだと、多少でも思ってくれると本当にありがたい。裁判の決定で、巖をいつまでも幸せにしてほしい」と話した。(矢吹孝文、宮川純一)

## 袴田事件 袴田さんの再審可否 東京高裁、11日判断 「新証拠」どう評価

毎日新聞 2018年6月9日 東京朝刊

1966年に静岡市清水区(当時・清水市)で、みそ製造会社の専務一家4人が殺害された事件で死刑が確定し、2014年の静岡地裁の再審開始決定で釈放された袴田巖元被告(82)に対し、東京高裁は11日、即時抗告審の結論となる決定を出す。地裁が再審開始決定の新証拠と認めたDNA型鑑定の信用性などを巡り、高裁が地裁の再審開始を支持するのか、覆すのかが注目される。争点や経緯

をまとめた。【石山絵歩、古川幸奈】



＝2016年3月撮影  
DNA型鑑定

地裁の再審開始決定の主な根拠となったのが、本田克也・筑波大教授が行ったDNA型鑑定だ。確定判決(80年に最高裁で死刑が確定)が血液型鑑定の結果から「(袴田さんや被害者の)血痕が付いた犯行着衣」としていた衣類に関し、本田氏の鑑定は特別なたんぱく質を用いた独自の手法で「血痕は袴田さんや被害者と一致しない」と結論付けていた。

即時抗告審では、高裁が検察側の求めを受け、本田氏の鑑定の検証を決定。鈴木広一・大阪医科大教授が検証を行い、「本田鑑定の特別なたんぱく質はDNAを分解する成分を含み、手法は不適切」との意見書を出した。高裁がこの検証結果を踏まえ、本田氏の鑑定の信用性についてどう判断するのが最大の注目点だ。

犯行着衣の変色

「犯行着衣」は事件発生から1年2カ月後、袴田さんが勤めていた工場のみそタンク内から見つかった。この時、既に袴田さんは逮捕・起訴されて1審公判が始まっており、検察側は「事件時にパジャマを着ていた」との主張を「(新たに見つかった)5点の衣類を着ていた」と変更、確定判決は後者を「犯行着衣」と認めた。

これに対し、14年の地裁決定は、弁護側のみそ漬け実験の結果を踏まえ「長期間みその中に隠されていたと考えるには、衣類の色が薄過ぎ、血痕の色も赤みが強すぎる」として「(捜査機関側による)捏造(ねつぞう)の疑い」に言及した。

即時抗告審では、検察側のみそ漬け実験を行い「みその液汁がしみこむと、衣類の色は薄くなる。血痕の色は血液の量などによって差異が生じる(ため一概に言えない)」などと反論。弁護側は「衣類の色は、弁護側実験の結果を見ても濃くなければおかしい。血痕の色は、検察の実験結果でも(弁護側実験と同様に)黒くなっており、(赤みが強いという)変色の不自然さを裏付けた」と主張している。

録音テープ開示

即時抗告審で検察側は、袴田さんの取り調べ状況の一部を録音したテープ（約48時間分）を開示した。弁護側はこのテープの録音内容を反訳し、心理学の専門家にも分析を依頼した結果に基づき「無実の人が強制と誘導により、捜査側の意に沿った供述をしていく過程が残されていた」と主張。テープを無罪の「新たな有力証拠」と位置付けた。

◇ ◇

袴田さんは4年前の釈放直後は家にこもりがちだったが、最近は姉秀子さん（85）と遠出したり、1人で買い物もしたりするようになった。しかし、妄想めいた話をすることもあり、弁護団は「死刑を執行されるかもしれないという恐怖感が妄想の根底にあり、今も拘置所内にいた時の精神状況と変わっていない」と、早期の再審無罪判決を求めている。